

◆選挙事務ボランティアに参加しました！

7月9日(土)、桶川市選挙管理委員会のご厚意で、参議院議員選挙の前日というお忙しい中、本校3年生の2名が期日前投票のお手伝いをさせていただきました。有権者を会場まで誘導したり、投票の手助けをしたり、職員の方とともに投票用紙を渡したり、非常に貴重な体験させていただきました。これまでに主権者教育として教室で学び、選挙に関心を持っていた2名は、いろいろな気づきや、感想があったようですが、興奮冷めやらず、とにかく楽しかったと言っていました。これをきっかけに、自立した主権者として大きく成長してくれることを期待しています。



◆非行防止教室

夏休みを前にした7月15日(金)に非行防止教室を実施しました。先生方によるロールプレイ(小芝居)で身近にある危険ドラッグや特殊詐欺に関する事例を学びました。どの先生もリアリティのある迫真の演技で魅せてくれました。生徒たちは皆、引き込まれ、自分のこととして考える良い機会になったようです。



科学部(桶西水族館)

「帰ってきた魚たち」

平成18年(2006年)2月に飼育を始めて、同年6月にはその事が読売新聞でも紹介されたハートフル桶西水族館の看板魚のネオケラトドウス(オーストラリア肺魚)が、本年4月に水槽から飛び出して死んでしまいました。体長は飼育開始時の22cmから4倍近い85cmにまで、体重は3.7kgにまで成長していました。50年は生きるともいわれるだけに、その早世は惜しまれましたが、このたび剥製としてよみがえり、再び水族館の看板魚として帰ってきました。ネオケラトドウスは現生の6種類の肺魚の中で、上陸して両生類に進化した系統に最も近い子孫と言われています。ネオケラトドウスを国内で飼育している水族館は少なく、ましてや剥製を展示している博物館等は国内では確認できていません。超レアな展示を是非ご覧ください。



あわせて、突然変異で生まれて10年間飼育した白いピラニア(名付けてパールホワイト)の剥製も展示に加わりました。こちらはほぼ確実に当水族館でしか見られません。

どちらも生越(おごせ)在住で魚類剥製が専門の小林石水氏によるものです。

美術部

現在、美術部では桶川西高校文化祭『勾玉祭』にむけて作品制作に奮闘しています！普段はのんびりと個人のペースで作業をしている美術部ですが、校門に飾るエアアーチの装飾も手掛けることになり、部員一同、力を合わせて全力で取り組んでいます。個性豊かなメンバーが気持ちを一つにした作品、どんな姿になっていくのか、今から楽しみです。



<学校説明会> 桶川西高校へぜひお越しください！

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 第1回 7月30日(土) 学校紹介 | 第4回 11月5日(土) 生徒の話を聞く |
| 第2回 8月27日(土) 部活動体験 | 第5回 11月26日(土) 入試相談会 |
| 第3回 10月15日(土) 体験授業 | 第6回 1月28日(土) 入試相談会 |

※学校説明会は予約制です。日程は、中止・変更になる場合があります。詳しくは本校ホームページをご覧ください。



埼玉県立桶川西高等学校
〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷 1531-2
Tel 048-787-0081 FAX 048-789-1051
HP <https://www.okenishi-h.spec.ed.jp/>

